

学長室から

竹屋 元裕

3年ぶりの「杏祭」開催に寄せて

世界中が新型コロナウイルス感染症によって翻弄されて2年半が経過しました。本学の学園祭「杏祭」も過去2回が中止となりましたが、満を持して今年は10月15日（土）に3年ぶりの開催となります。前日には前夜祭も予定されているようです。澤本涼実行委員長と実行委員会の皆さんが知恵を出し合い、様々な趣向を凝らした「杏祭」を企画していただきました。ウィズ・コロナでの開催のため来場者は学内限定ですが、十分な感染防止対策のもとで、ゲストによるお笑いライブ、コンテスト企画、各クラブによるステージパフォーマンスなど例年に近い企画が並びました。学生・教職員の皆さんが一体となって、学園挙げての「杏祭」が繰り広げられることを心から願っています。

学生諸君にとって大学は単に学問を学ぶだけの場所ではなく、学生同士や学生・教職員、あるいは社会との交流によって人間関係を構築する場でもあります。同級生や先輩・後

輩との繋がりは学生時代にしか得られないかけがえのない経験であり、社会に出てからも一生の財産となります。

ところが、コロナ禍の2年半は、学問の修得についてはオンライン授業の導入等で曲がりなりにもクリアできましたが、大学のもう一つの役割である「人間関係の構築」は不十分で、学生同士あるいは学生・教職員間のコミュニケーションの機会は激減し、社会との接点も大きく縮小してしまいました。この2年半の間に大学に入学した若者たちの大きな不満は、遠隔授業ばかりでクラスメートと会えず、クラブ活動やサークル活動の制限、学園祭などのイベントの中止で友達や先輩・後輩を得る機会が失われた事です。

学生の皆さんには、「杏祭」を機会に新しい友人・知己を得て欲しいと思います。今年の「杏祭」が失われた2年半を取り戻すきっかけとなれば幸いです。

本番に向け準備着々

14日前夜祭
15日本 祭

杏祭が14日（金）、15日（土）に行われます。新型コロナウイルス感染拡大のため、過去2年間中止されており、3年ぶりの開催となります。

今年のテーマは「距離はとっても心は密に」。規模を縮小しての限定開催ではありますが、澤本涼実行委員長（リハビリテーション学科理学療法専攻2年）のもと、11日からは会場設営も始まります。

14日（金）は16時から、前夜祭としてアリーナで吹奏楽部、軽音楽部の演奏やダンスサークルmimicによるダンスが披露され、本祭の15日（土）は10時から、お笑いライブ、模擬店・文化展紹介などが計画されています。また、フィナーレとして花火も打ち上げられます。両日も、1号館と3号館の間の芝生スペースでは模擬店の出店があり、2号館では文化展もあります。（安部悠介）

「アカデミックスキルⅡ」 基調講義スタート

初年次生を対象とした全学必修科目「アカデミックスキルⅡ」が9月29日（木）に開講。リハビリテーション学科の第1回授業（50周年記念館）で木下統晴理事長が基調講義を行いました。基調講義は、1年次生のうちから学びへの構えをつくり、将来の自身の目標を見据え向かっていく際の進路を見つめ直してもらうことを狙って、昨年度から「アカデミックスキルⅠ」「同Ⅱ」で行っています。

冒頭、木下理事長は約140人の学生と共に各医療職の倫理綱領を読み上げ、「知識や技術のみならず、本学の四綱領の中において『心』の文字が入っている思慮と仁愛を重んじることが何よりも大切である」と話しました。また、人口ピラミッドや少子高齢化など様々な角度から社会問題を取り上げ、「一見ネガティブに思える現状に囚われるのではなく、ポジティブな未来を常に予測し、貴重な『今』という時間を有

意義に過ごしてほしい」と、熱く語りかけました。（アカデミックスキル支援センター・松尾健志郎）



今後の基調講義の演者と日程は次の通りです。
＜竹屋元裕学長＞10月11日(火)3限目 1301 講義室L＝医学検査学科
＜川口辰哉研究科長＞10月27日(木)4限目 50周年記念館＝看護学科



木下理事長
学生たちを前に熱く語る

9月卒業式 3人に学位記授与

9月卒業式が9月26日（月）、1204-1206会議室で執り行われ、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の3人が竹屋学長から学位記を授与されました。

引き続き、学生たちがそれぞれ一言ずつ挨拶し、参加した先生と一緒に笑顔で記念写真に納まりました。（総務課）＝写真は卒業式後、記念撮影する参加者たち



私のお薦め記事

（このコーナーはDive! LSP 1年生が担当しました）

医療的ケア児支援法 自治体で拠点の設置進むも受け入れに課題

（2022年9月18日 NHK NEWS WEB）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220918/k10013824731000.html>

概要

タンの吸引や人工呼吸器などが欠かせない「医療的ケア児」の支援や相談の拠点についてNHKが各都道府県に取材したところ、これまでに8割近くの自治体が設置した一方でそれらを受け入れる保育所や学校など地域資源の不足が課題であることがわかった。そのため、ある県では保育所などで受け入れに備え看護師を雇用しているという。（看護学科・奥山美優）

コメント

医療的ケア児を受け入れる保育所や学校など地域資源の不足が課題であることが浮き彫りになった。地域資源の不足の要因としては、医療従事者や学校側で対応する人が足りないなど、さまざまな問題が絡んでいるのではないかと。各自治体で医療的ケア児を受け入れる施設や相談所を増やしていくためには、まずは支援にあたる人材を育成することが必要だ。（リハビリテーション学科PT専攻・井上梨久）

総合型選抜で入学した1年次生が、日々の新聞や雑誌などから気になる記事ピックアップし、毎週紹介します。これは、Dive!LSPと銘打った教育プログラムの一環です。

相談に応じるピア・サポーターたち



◆1年生の履修登録を支援 1年生を対象とした「後期履修登録相談会」を9月28、29日、10月3日の3日間、キャンパステラスと1500講義室Mで開催しました。3日間で計63人の来場者があり、「どの科目が難しいか」「実習はどのような感じか」「選択科目は何を取るべきか」等の質問が多かったようです。ピア・サポーターたちが、正確な情報を伝えるために意見交換したり、時には担当を代わったりしながら対応していました。次回は1月に定期試験対策相談会を予定しています。(学生相談・修学サポートセンター)

◆熊本国府高生が本学訪問 熊本国府高校の1年生75人が9月21日(水)、本学を訪問しました。大学概要について説明を受けた後、昼食を挟み、1号館、2号館を中心に施設を見学。最後に、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の畑添涼講師による模擬授業を受講しました。(安部悠介) =写真は言語聴覚学専攻の模擬授業を受ける熊本国府高校の生徒たち



インフォメーション

週間行事予定 (10月8日~10月14日)

10 / 12 (水)	大学訪問 (玉名高校附属中学校)
10 / 14 (金)	杏祭 (前夜祭)